

ホンダジェットでバイオジェット燃料『サステオ』を初使用！
今秋より一般の方もプライベートジェットで選択可能に
民間航空機で初の「サステオ」フライトが実現
日々の生活でバイオ燃料利用が当たり前となる社会に向けて始動

HondaJet Elite 共同所有者一同（千葉功太郎氏ら）

株式会社 Japan Biz Aviation

株式会社ユーグレナ

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：出雲充、以下「ユーグレナ社」）は、千葉功太郎氏らが共同所有し、株式会社 Japan Biz Aviation（本社：東京都大田区、代表取締役：小泉愼、富永政幸、以下「JBA」）が運航管理を行うプライベートジェット機「HondaJet Elite（ホンダジェット エリート）」に、ユーグレナ社のバイオ燃料「サステオ※1」（ユーグレナ社が製造・販売するバイオ燃料のブランド名、以下「サステオ」）を使用したフライトを実施したことをお知らせいたします。また、バイオ燃料利用が当たり前の生活の実現に向けて、2021 年秋にサービス開始を予定している

「HondaJet Elite」の一般向けチャーターフライトにおいて、お客様が申込時に「サステオ」の使用をオプションとして選択可能になることを発表します。

※1 2021 年 6 月 29 日リリース <https://www.euglena.jp/news/20210629-2/>



鹿児島空港での記者会見の様子

1. 「HondaJet Elite」での「サステオ」使用フライトの成功

本フライトは、千葉氏ら「HondaJet Elite」の共同所有者がユーグレナ社の『GREEN OIL JAPAN』の理念に賛同し、ジェット機移動の際に排出される二酸化炭素を削減する手段の一つとして、ユーグレナ社のバイオ燃料「サステオ」の使用に至りました。民間航空機での「サステオ」ジェット燃料の使用は、世界で初めてとなります。

今回のフライトで使用した「サステオ」は、原料に使用済み食用油と微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ、以下「ユーグレナ」）由来の油脂を使用し、ユーグレナ社のバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントの BIC プロセスにて製造、外部検査機関による ASTM D7566 Annex6 規格への適合検査に



合格※²したものを既存石油系ジェット燃料と混合したバイオ燃料です。

※2 2021年3月15日発表リリース <https://www.euglena.jp/news/20210315/>

なお、本フライトは、2021年6月29日11時に鹿児島空港を離陸し、約90分間の飛行を経て羽田空港へと着陸致しました。今回のフライト実施に合わせ、YouTubeでのオンラインライブ配信も行いました。(<https://youtu.be/YzDXPtNWflk>)

2. フライト時の「サステオ」利用オプションの提供（2021年秋開始を予定）

本フライトを機に、当機共同所有者・JBA・ユーグレナ社は新たな試みとして、2021年秋にサービス開始を予定している「HondaJet Elite」の一般向けチャーターフライトにおいて、お客様が申込時に「サステオ」の使用をオプションとして選択可能になることを発表します。

ユーグレナ社が継続的に「サステオ」をJBAに提供することで、チャーターフライトを利用するお客様の選択により、「サステオ」を使用したフライトを実施致します。なお、2021年秋以降の一般向けチャーターフライトについて、初年度は年12回程度の利用を見込んでおり、全てのお客様に「サステオ」使用をご要望いただいた場合でも十分に供給できる体制を整えています。今後もお客様のニーズにあわせて継続供給していきます。

なお、「サステオ」を使用した一般向けチャーター機に関するご案内は、今後ユーグレナ社HP上に特設ページを開設することを予定しております。



ユーグレナ社の特設サイトのイメージ

ユーグレナ社は、2018年10月末、日本初のバイオ燃料製造実証プラントの竣工を機に、「日本をバイオ燃料先進国にする」ことを目指す『GREEN OIL JAPAN（グリーンオイルジャパン）』を宣言し、陸海空における移動体にバイオ燃料を導入することを目標として掲げてきました。2020年3月には、「サステオ」ディーゼル燃料が完成、供給を開始し、バス、配送車、フェリー、タグボート、一般生活者向けにガソリンスタンドなどでバイオディーゼル燃料の導入が拡大しています。

2020年8月には、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）の公募事業である「バイオジェット燃料生産技術開発事業/実証を通じたサプライチェーンモデルの構築、微細藻類基盤技術開発」の採択※³を受け、2025年中のバイオ燃料製造商業プラントの稼働開始に向けて、原料調達から燃料製造技術、燃料供給までの一貫したサプライチェーンの整備、および燃料用原料としての微細藻類生産における技術開発を推進しています。

※3 2020年10月5日発表リリース <https://www.euglena.jp/news/20201005-2/>

ユーグレナ社のバイオジェット燃料製造については、2021年3月に国産バイオジェット燃料でのフライト実現への大きな一歩である「サステオ」ジェット燃料が完成。6月4日に国土交通省航空局保有の飛行検査機「サイテーション CJ4」に導入した初フライトを実施し、今回が2機目への導入となります。民間の航空機で「サステオ」が使用されるのは初めてです。ユーグレナ社は、今後も「サステオ」の普及に取り組むことで、バイオ燃料利用が一般消費者にとっても当たり前となるサステナブルな社会の実現を目指して参ります。

●プライベートジェットフライトの「サステオ」利用オプション提供の特設ティザーサイト

<https://online.euglena.jp/shop/pages/biofuel.aspx>

●バイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントについて

2018年10月31日に竣工した、日本初のバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラント。当社は完成を機に、横浜市、千代田化工建設、伊藤忠エネクス、いすゞ自動車、全日空、ひろしま自動車産学官連携推進会議をサポートとして、「日本をバイオ燃料先進国にする」ことを目指す『GREEN OIL JAPAN（グリーンオイルジャパン）』を宣言（<https://euglena.jp/news/20181102-2/>）。

<株式会社 Japan Biz Aviation について>

2018年6月に航空運送事業・航空機使用事業を取得し、2019年3月に HondaJet Elite 初号機の共同所有スキームの導入をするなど、国内のジェネラルアビエーションの普及を目指している。これまでの国内のビジネスジェット・ヘリコプターに対する概念を覆す、利便性・快適性・サービス内容の向上に注力し事業を展開。2021年秋頃に Honda Aircraft HA420 型(Honda Jet) を事業機に編入予定。（<http://www.j-bizavi.com/>）

<オーナー代表千葉氏ご紹介>

株式会社コロプラの取締役副社長として、東証マザーズ IPO、東証一部上場を果たし 2016 年に退任。国内外のインターネットやリアルテック業界でのエンジェル投資家(スタートアップ 60 社超、VC50 社超)として活動。2017 年に DRONE FUND を設立。投資先の起業家コミュニティ「千葉道場」を運営。2019 年 4 月、慶應義塾大学 SFC の特別招聘教授に就任。2018 年 12 月に堀江貴文氏らと共に国産旅客機「HondaJet Elite」の国内 1 号機を共同購入。自身でも自家用操縦士のパイロットライセンスを取得。

<株式会社ユーグレナについて>

2005 年に世界で初めて微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）の食用屋外大量培養技術の確立に成功。微細藻類ユーグレナ・クロレラなどを活用した機能性食品、化粧品等の開発・販売のほか、バイオ燃料の生産に向けた研究、遺伝子解析サービスの提供を行っています。また、2014 年より行っている、バン格拉デシュの子どもたちに豊富な栄養素を持つユーグレナクッキーを届ける「ユーグレナ GENKI プログラム」の対象商品を、2019 年 4 月より化粧品を含む全グループ商品に拡大。2012 年 12 月東証マザーズに上場。2014 年 12 月に東証一部市場変更。「Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）」をユーグレナ・フィロソフィーと定義し、事業を展開。<https://euglena.jp>

以上